

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ダッシュくん。Fit 明野		
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員間での情報共有を重視し、日々のミーティングや記録を通して、子どもの状況に応じた支援が継続的に行われている	・日々のミーティングや支援記録を活用し、子どもの様子や支援内容を職員間で共有している ・児童発達支援管理責任者を中心に、チームで支援内容を検討している	・記録内容や共有方法を整理し、より質の高い情報共有が行える体制づくりを進めていく
2	・児童発達支援計画も基づき、子ども一人一人の特性や発達段階に応じた支援を行っている	・アセスメントをもとに、個別性を意識した支援内容を設定している ・定期的に支援内容の見直しを行い、計画に沿った支援を実施している	・子どもや保護者の意向をより丁寧に反映できるよう、面談の充実を図っていく
3	・保護者との連携を大切に、日々の連絡や相談対応を通じて信頼関係を築いている	・日々の様子を公式ラインや口頭で丁寧に伝えている ・相談や問い合わせに対し、速やかに対応できる体制を整えている	・定期的な情報提供や面談の機会を設け、保護者が安心して利用できる環境づくりを進める

	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域や関係機関との連携が十分とは言えない点 ・他機関との情報共有や連携の機会が限られている	・地域の関係機関や相談支援事業所等との連携を意識的に図り、情報交換の機会を増やしていく
2	・外部研修や第三者の視点を取り入れる機会が十分でない点 ・業務の都合により、研修参加に時間確保が難しい状況がある	・計画的に研修参加の機会を確保し、支援の質の向上につなげていく
3	・支援内容の振り返りや分析を、より体系的に行う必要がある点 ・日々の業務に追われ十分な振り返りの時間が確保できていない	・定期的な振り返りの場を設け、支援内容の検証と改善を行っていく